

北海道で観測された地震に先行した VHF 散乱波の記録

Records of precursory VHF scattering waves before earthquakes occurrence

森谷 武男[1]

Takeo Moriya[1]

[1] 北大・理・地球惑星

[1] Earth and Planetary Sci., Hokkaido Univ.

森谷武男、茂木透、高田真秀、笠原稔
北海道大学理学研究科

2002年12月から2004年1月までに北海道の5ヶ所の観測点で観測された地震に先行するVHF散乱波の波形記録、それに波形継続時間、波形出現期間、静穏期期間などに関係した地震との統計的な性質を示す。散乱波は地震の数週間前から1日に数回、数分間からすう10分間出現し、2週間程度継続する。そして2-10日間の静穏期を経て地震に到る。ここで示すのは、32個の地震についての出現期間、総継続時間(T_e)、静穏期期間、地震のマグニチュードでこれらの量の間には法則性がありそうである。